

くらしの目線で市政を変える

# こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！ 京都市会議員



発行：2021年7月18日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



## 熱海市で 土砂災害

# 大岩山の違法造成地は大丈夫？



建設残土や産廃が大量に持ち込まれた大岩山

7月8日に開かれたまちづくり委員会で、熱海市で起こった土砂災害が大岩山と似ている事から、現状と課題について質問しました。熱海市では、住宅地の上の山間部の違法盛土が崩れ、下の住宅街に甚大な被害を起こしました。大岩山も建設残土や産廃が違法に持ち込まれ、2018年7月豪雨で崩れました。民家の直前で止まったので被害は最小限にとどまりましたが他人ごとではありません。今、恒久安全対策が行われています。崩落地の下流部に貯水量900㎡の調整池と堰堤がつくられています。西野市議は「降った雨は盛土につくられる側溝に8割、土に2割と言われるが、現状はどのくらいの雨量まで大丈夫なのか。」と質問。理事者は「50年に1度の雨に対応できる。」と答弁。更に西野議員は「土砂はどうか。昨年、計画が変更されて、崩れた斜面の西側の谷を埋める計画になった。前計画で35,080㎡を持ち出すことになっていたが、西側の谷を埋める盛土に使うのか。」と質問。理事者は「土砂量は言えない」の一転張りです。コロナの影響でたった10分しか質問できないため、深い追及はできませんが、引き続き追及します。

## 「危険な通学路なくせ」市議会で子どもたちの安全求め徹底論戦!!

千葉県で下校時の児童の列にトラックが突っ込み、2人の幼い命を奪う事故が起こりました。亀岡や大津での事故のたびに通学路の安全対策が問題になってきました。

京都市内では、様々な安全対策が講じられてきました。今年に入って、醍醐小学校に隣接する醍醐辻に点滅信号が設置され喜ばれています。しかし、まだまだ危険な通学路が残されています。西野市議は「現状は市内にどれだけの危険な通学路が残されているのか。例えば旧奈良街道は狭く危険なままで、雨が降れば傘をさしていると車に接触する。特に大山町交差点より

南は危険だが、宇治市に入ると短いガードレールが何か所も設置してある。京都市も対策すべき」と質しました。理事者は「対策の残っているのは市内で56か所。」と答弁。西野市議は「菅首相が6月30日に緊急対策を強化し実行するよう指示を出した。予算を確保し早急に対策を講じるべき」と質しました。



西野 さち子 委員

## 「歩くまち・京都」総合交通戦略の市民意見募集 (7月16日～8月16日)

京都市は10年前に人と公共交通優先の「歩くまち・京都」をつくろうと、計画を策定しました。10年経って社会状況の変化もあり、2040年に目指す市の姿について、市民意見の募集をしたのち見直すことになりました。

移動手段に車を使わない非自動車分担率は75.7%から77.7%、公共交通の利用は71.1%から91.0%に上昇しました。車の台数が減っている現状もあるので、見直しが必要です。

しかし、「歩くまち」と言いながら「北陸新幹線の円滑な整備の推進」「円滑な交通の確保に必要な幹線道路の整備推進」などが入っています。西野市議は「歩くまちとは全く関係のない北陸新幹線や幹線道路整備は削除し、生活道路や通学路の整備、公共交通の整備で交通不便地域の解消にこそ力を注ぐべきだ」と質しました。市民の皆さんのご意見をお寄せください。



困ったときは…  
**日本共産党の生活相談所へ**  
毎週月・水・金曜日  
午前10時から午後5時  
まずはお電話ください!!  
**☎621-6717**

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぼ  
**しんぶん 赤旗**  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 930円